

埋文やまがた



2025年9月30日
web版第17号
(第73号)



馬神昭和新田遺跡発掘調査説明会

7月21日行われた説明会には、猛暑にも関わらず、地元朝日町をはじめ50人以上の方々にお越しいただきました。

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷5608番地 TEL 023-672-5301 FAX 023-672-5586

ホームページ：<https://yamagatamaibun.or.jp>

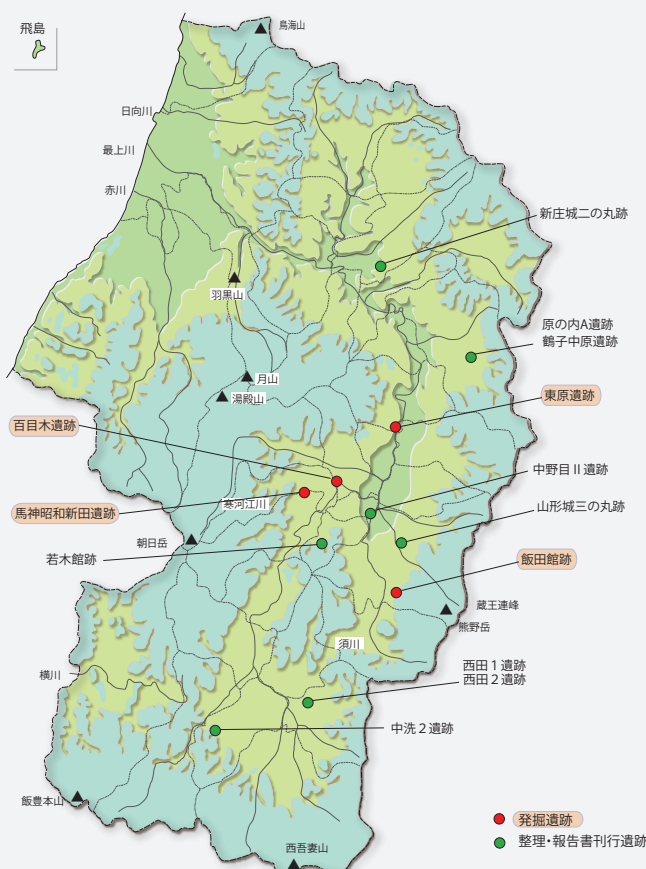
メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

令和7年度 調査事業

今年度は国土交通省、山形県農林水産部、山形県県土整備部、新庄市からの委託を受け、4遺跡の現地調査を実施しています。また、9遺跡の整理作業を行い、7遺跡の報告書を刊行します。

現地調査

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	どめき 百目木遺跡	大江町	近世・近現代	その他（築跡）	1月4日～2月27日（予定）
2	ひがしはら 東原遺跡	東根市	平安	集落跡	5月12日～11月20日
3	うまがみしょうわしんでん 馬神昭和新田遺跡	朝日町	縄文	集落跡	5月8日～8月11日
4	いいだたてあと 飯田館跡	山形市	中世	城館跡	7月8日～11月14日



整理作業

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	業務内容
1	中野目II遺跡	山形市	古墳・奈良・平安	集落跡	整理作業・報告書刊行
2	原の内A遺跡第4次	尾花沢市	縄文	集落跡	整理作業・報告書刊行
3	鶴子中原遺跡	尾花沢市	縄文	集落跡	整理作業・報告書刊行
4	西田1遺跡・西田2遺跡	高島町	古墳・奈良・平安・中世	集落跡	整理作業・報告書刊行
5	山形城三の丸跡第22～24次	山形市	奈良・平安・近世	集落跡・城館跡	整理作業
6	若木館跡	山形市	中世	城館跡	整理作業
7	中洗2遺跡	川西町	古墳	集落跡	整理作業・報告書刊行
8	新庄城二の丸跡	新庄市	近世	城館跡	整理作業・報告書刊行

馬神昭和新田遺跡は、西村山郡朝日町馬神地内にあり、最上川中流域の左岸の河岸段丘上に位置しています。交通安全道路事業主要地方道長井大江線大谷工区の道路建設に伴う発掘調査となります。

調査は、1万年前以降に堆積したと考えられる遺物が出土する黒ボク土層（Ⅲ層）の上面まで重機で掘り下げたのち、Ⅲ層からⅣ～Ⅴ層上面まで人力で掘り下げていきました。

Ⅲ層下位のⅣ層上面では、縄文時代に掘れたと考えられる土坑3基、ピット32基の遺構が検出されました。土坑SK2からは、縄文土器とともに、石器を製作した際に生じる製作くずである、珪質頁岩製の剥片やチップが密集して出土しました。調査区北半部からは、谷状の窪地跡が検出されました。検出された遺構は、丁寧に掘り下げ、写真撮影や三次元計測をして記録作業を行いました。

縄文時代に堆積したⅢ層からは、上面において縄文時代晩期（約2500年前）に相当する深鉢形土器などが発見されました。また、Ⅲ層の中部からは、縄文時代中期（約4500年前）に相当する浅鉢形土器や深鉢形土器、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝『縄文の女神』と類似し、かつ同様の大きさと思われる西ノ前型土偶の破片が発見されました。土

偶の破片は、下腹部から背中の部分で、腹部に渦巻状文様やへその孔が、背中には、浅い縦の溝が認められます。このほか、珪質頁岩製石匙やへう形石器、かんらん岩製磨製石斧などの石器資料が発見されました。

今回の調査では、遺物包含層であるⅢ層から、縄文時代晩期と中期の遺物が多数出土することを確認しました。とくに、縄文時代中期の西ノ前型土偶は、町内初の発見となります。遺構については、数が少ないですが、過去にこの地で生活していた人々の痕跡を発見することが出来ました。調査区の北半部に遺物が多く出土したことから、遺跡の中心部が今回の調査区よりも北方に存在している可能性が考えられます。



遺跡全景



調査風景



縄文土器（左）と西ノ前型土偶（右）

令和7年度 普及啓発事業

山形県からの委託を受け、埋蔵文化財の保存と活用及び保護思想の普及啓発を図るために事業を行っています。

講座

No.	事業名	期日
1	発掘体験 in 東原遺跡	9月13日
2	遺跡体感ソーリズム in 下小松古墳	10月18日
3	考古学お仕事見学体験	11月15日
4	令和7年度山形県発掘調査速報会	3月8日

出前授業 23校 ※5ページ参照

情報の提供及び発信

- ①「遺跡・史跡パンフレット」作成
- ② SNS による普及啓発事業の情報発信

市町村巡回展

No.	展示会名	会場	期間	ギャラリートーク
1	発掘された舟形町と最上郡の遺跡	舟形町歴史民俗資料館	8月1日～8月31日	8月14日
2	発掘された小国町の遺跡	横川ダム管理支所きてくろ館	9月10日～10月30日	9月27日
3	発掘された中山町の遺跡	中山町立歴史民俗資料館	12月2日～1月20日	12月20日(予定)

～これからのイベント情報～

考古学お仕事体験

令和7年11月15日(土)

午前の部 9:30～11:30 午後の部 13:00～15:00

定員: 各回30人 ※要申し込み・先着順

会場: 山形県埋蔵文化財センター(上山市)

埋蔵文化財センターで行っている、土器や石器の整理作業を体験しませんか?

あなたも一日考古学者に!!

見学のみの方も申し込み可能です。



令和7年度 山形県発掘調査速報会

令和8年3月8日(日) 13:00～16:00

会場: 東根市公益文化施設まなびあテラス 市民ギャラリー

令和7年度に山形県内で行われた遺跡の発掘調査の報告会を行います。ぜひ足をお運びください!



出前授業

出前授業実施校

	小学校名		期日
1	大江町立本郷東小学校	第6学年	5月12日
2	寒河江市立寒河江中部小学校	第6学年	5月27日
3	山形市立蔵王第一小学校	第6学年	5月29日
4	酒田市立広野小学校	第6学年	6月3日
5	山形市立大郷小学校	第6学年	6月5日
6	最上町立最上中学校	第1学年	6月6日
7	東根市立東郷小学校	第6学年	6月11日
8	酒田市立松山小学校	第6学年	6月13日
9	東根市立長瀬小学校	第6学年	6月16日
10	酒田市立松陵小学校	第6学年	6月17日
11	村山市立楯岡小学校	第6学年	6月18日
12	米沢市立万世小学校	第6学年	6月24日
13	酒田市立松原小学校	第6学年	6月25日
14	小国町立小国小学校	第6学年	6月27日
15	鮭川町立鮭川小学校	第6学年	7月3日
16	山形市立第十小学校	第6学年	7月8日
17	酒田市立浜中小学校	第6学年	7月15日
18	三川町立東郷小学校	第6学年	7月17日
19	大石田町立大石田小学校	第6学年	7月18日
20	山形市立楯山小学校	第6学年	7月29日
21	飯豊町立手ノ子小学校	第6学年	8月27日
22	鶴岡市立黄金小学校	第6学年	8月28日
23	尾花沢市立玉野小学校	第6学年	9月4日

埋蔵文化財の普及啓発のため、小中学校などで出前授業を行っています。縄文時代についての講話や、様々な体験活動を行っています。出前授業を通して、より良い授業作りに貢献し、子どもたちの歴史に対する関心や理解を深める機会となることが目的です。



土器・石器を
さわってみよう



火起こし体験



弓矢体験



キャリアスタートウィーク

上山市立南中学校2年生の4名が2日間の職場体験を行いました。土器の洗浄や、発掘機材の整理作業、勾玉づくり体験などを行いました。細かい作業に苦戦しているようでしたが、他の生徒や職員とコミュニケーションをとりながら取り組んでくれました。これからの生活や将来の仕事に少しでも役立てることを感じていただけたようでした。

発掘された舟形町と最上郡の遺跡

8月1日（金）～31日（日）
舟形町歴史民俗資料館

令和7年度も3市町村で市町村巡回展を行います。最初の巡回展は国宝『縄文の女神』が出土した舟形町です。西ノ前遺跡の資料を展示公開している舟形町歴史民俗資料館の展示室で、最上郡7市町村から出土した縄文時代の遺物を公開しました。期間中174名という例年の1.5倍の来館者に見ていただくことが出来ました。



発掘体験 in 東原遺跡

9月13日（土）



東原遺跡（東根市羽入）で17名に参加いただき、発掘体験を行いました。移植べらや箕（土を集める道具）などの発掘用具を使って遺跡を掘りました。遺物包含層を掘り下げていくと、次々と古代の土器が出てきます。あまりにも土器が出てくるため、壊さないよう慎重に掘っていくのが大変のようでした。

どんなものが出てくるかな？



心配された雨もやみ、発掘体験開始です！



掘ると次々土器が出てきます



自分で掘った土器と記念に一枚！！

高校生のための考古学・歴史学ゼミナール

7月30日(水)・8月1日(金)

考古学や歴史学に興味を持ち、大学で学びたいと考えている高校生を対象にした体験講座を、東根市の東原遺跡で行いました。将来の研究者や埋蔵文化財センター職員を目指してもらうことを狙いに、少人数で開催しています。受験勉強を控えた3年生を含め、県内外から8名の参加があり、開発に伴う埋蔵文化財の実態や、発掘調査の方法を学びました。



令和7年度新入職員の紹介

今年度2名の新しい正職員を迎えました。

三浦 一樹

青森県出身です。発掘調査で見つかる遺構や遺物をじっくり観察することで、昔の人々の暮らしぶりを想像できる——そこに考古学の面白さがあると思います。

山形では、さまざまな遺跡の調査を通して、自分の知識や経験を深めながら、楽しみつつ仕事に取り組んでいます。

結城 駿

故郷の山形で埋蔵文化財の調査に関われることを光栄に思います。旧石器時代を専門に研究しています。遺跡から見つかる物を通じて、かつて確かに人々が生活していたと実感しながら過去を探求できることが考古学の魅力だと感じています。思いもよらない行動の痕跡に驚かされることも楽しさの一つです。

秘宝館

下長橋遺跡（遊佐町）出土

下長橋遺跡は遊佐町に所在します。昭和 62・63 年に 2 次にわたり発掘調査が行われ、9 世紀末から 11 世紀前葉の遺構や遺物が確認されました。

調査により規則的に配置された建物跡や地鎮に関連する遺構などが検出されました。一般集落とは異なる様相で、古代の役所である官衙に似た構造をもつことが明らかとなりました。

西暦 915 年降下の火山灰や、建物跡柱穴の地震による変形が確認され、遺跡の年代の上限は 9 世紀後半で、火山灰の降下後建物が配置され、その後地震により建物が崩壊し、地鎮祭祀が執り行われた変遷が明らかとなりました。

地鎮に関連する遺構として土器を埋設した土坑が 6 基確認されました。土坑からは坏・皿・礫が入った状態で赤焼土器の甕が出土しました。地震により被害を受け、天災を鎮めるために神々へ祈りをささげた当時の人々の様子がうかがえます。

地鎮遺物：平安時代



地鎮遺物



埋納された状態で出土した地鎮遺物



規則的に配置された掘立柱建物跡

編集後記

全国各地で熊の被害がニュースになっています。今年度センターで発掘している東根市東原遺跡の近くの山形空港でも熊が出没し、現場近くにも足跡が確認されたようです。屋外作業となる発掘調査、市街地にはなかった熊をはじめとする獣害対策などを考える必要がでてきたのかかもしれません…。